

平成 18 年 6 月 16 日
独立行政法人 日本原子力研究開発機構
敦賀本部 新型転換炉ふげん発電所

平成 18 年度 重水精製装置 I 解体実証試験に係る 準備作業の実施について

ふげん発電所の重水精製装置 I は既に運用を終了しており、昨年度は精留塔及び A 中間タンクが平成 17 年度の解体実証試験に供され、残りの機器についても今年度以降、順次解体実証試験に供されることとなっています。

原子力機構では、その準備作業として 6 月 19 日より重水精製装置 I の系統内残留重水回収、系統内配管の軽水洗浄、トリチウム除去(乾燥)等を実施します。

なお、解体実証試験は、文部科学省から (財)原子力安全技術センターが委託されて行う「試験研究炉等廃止措置安全性実証等 (研究開発段階炉の調査)」の一環として実施される試験であり、原子力機構では本試験の円滑な実施に協力しております。

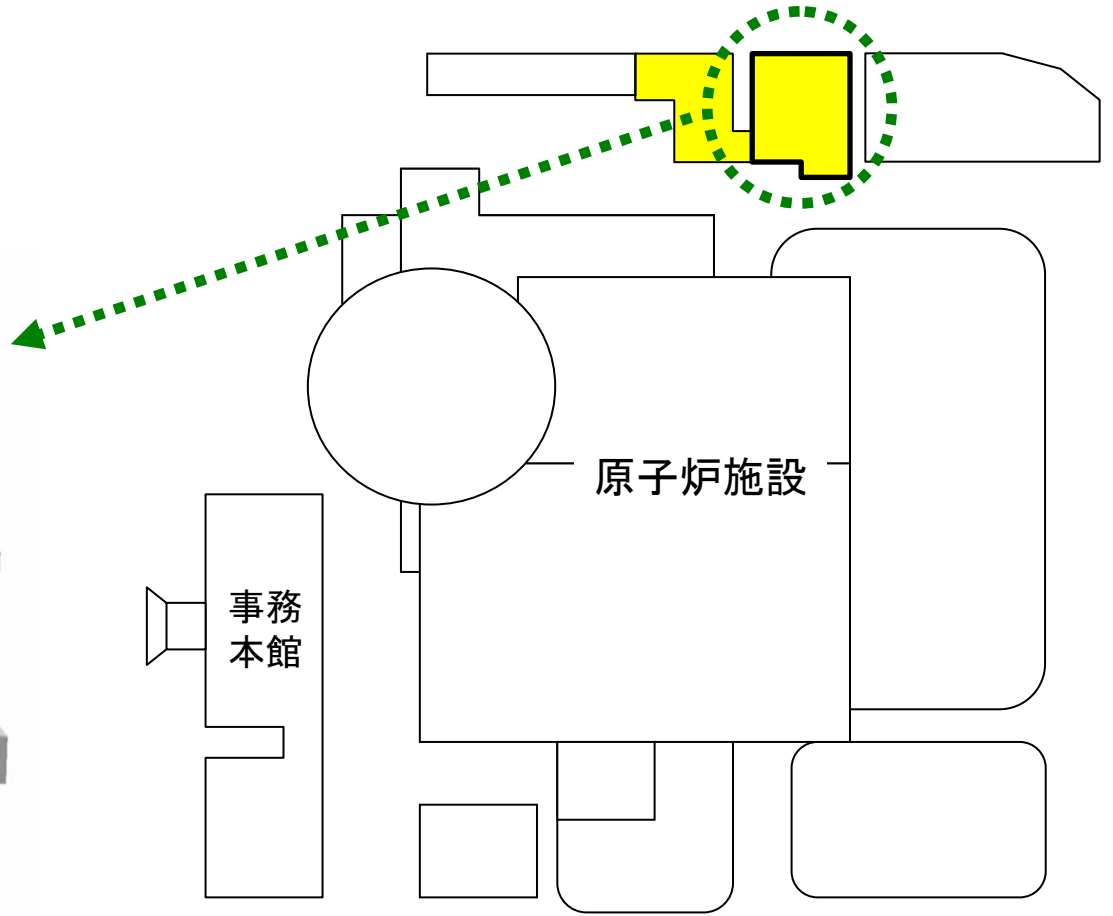
以上

添付資料

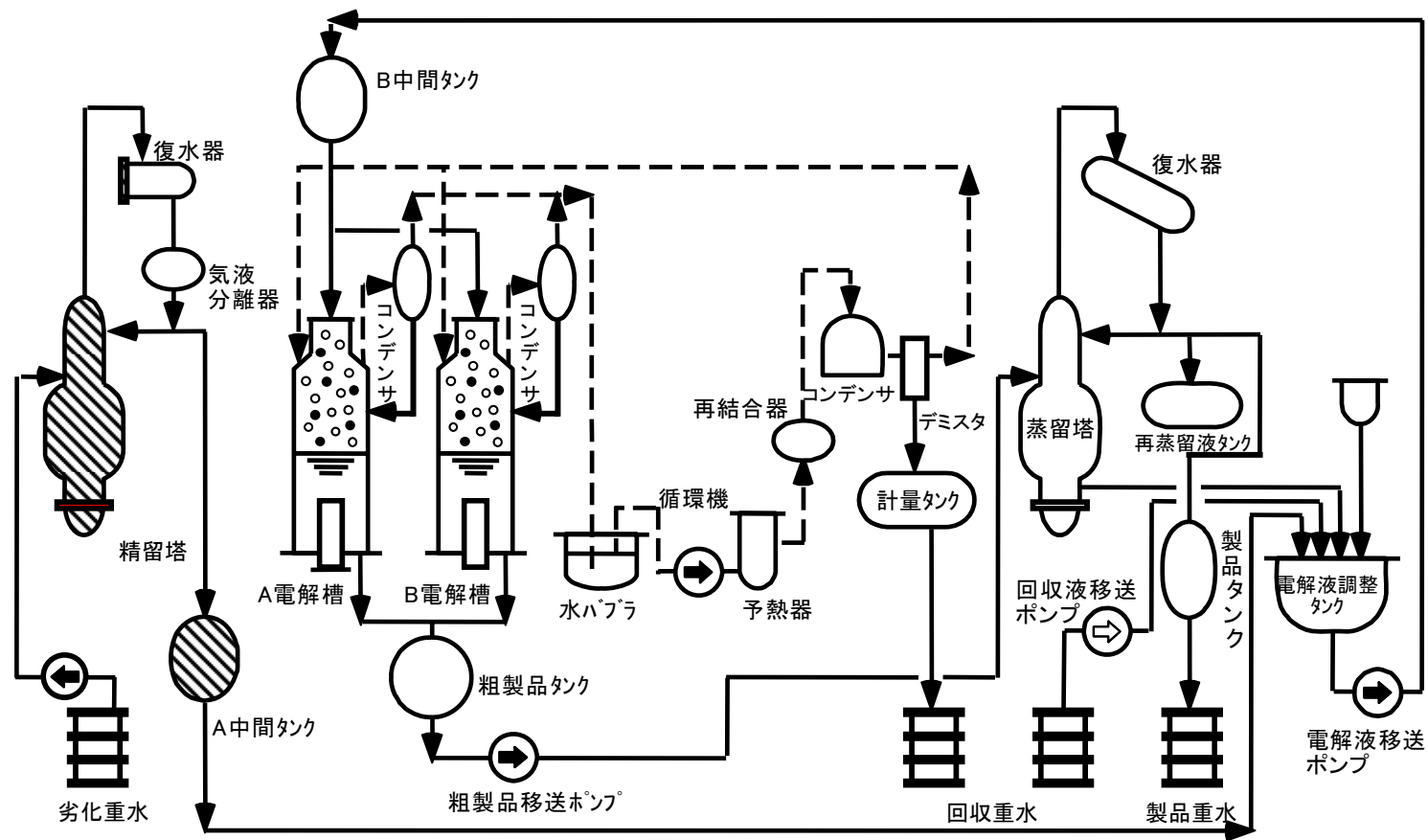
- (1) ふげん発電所建屋配置図
- (2) 重水精製装置 I 系統概要図

重水精製建屋 (RI施設)

重水精製装置 I



ふげん発電所建屋配置図



:H17年度解体実証試験に供した機器

重水精製装置 I 系統概要図